

MIMS & AMS / Penn CMB

協力協定締結記念

# 特別講演会

## UPenn-Meiji Special Lectures

明治大学先端数理科学インスティテュート(MIMS)・大学院先端数理科学研究科(AMS)と米国ペンシルベニア大学数理生物学センター(Penn CMB)との間で学術研究交流の推進を目的とする協力協定が締結されたことを記念して、以下の特別講演会を開催します。

15:30~16:20

Mathematical modeling of cell volume control and electrolyte balance

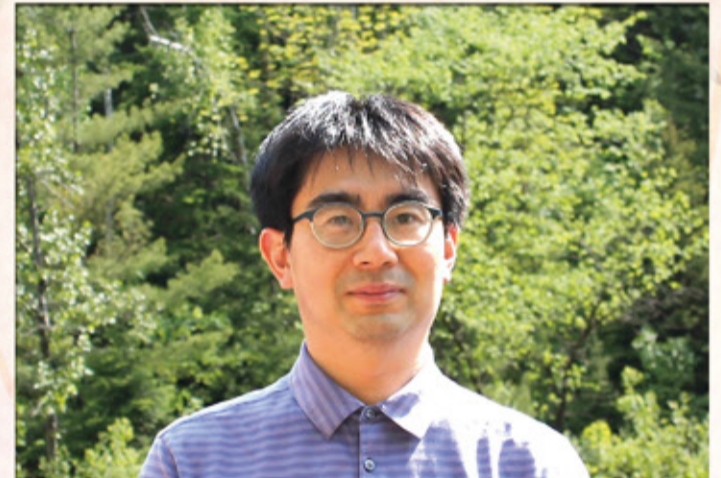
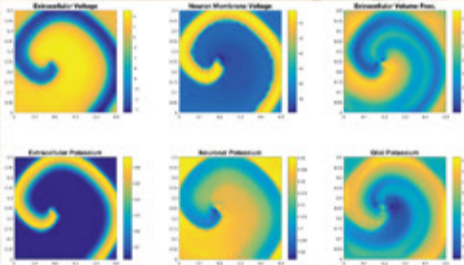
細胞の体積調節と電解質バランスの数理 (日本語講演)

細胞の体積調節に関する古典的数理モデルとして知られるpump-peakモデルを熱力学的観点から再検証し、拡張モデルを使って細胞のふるまいの解析や脳疾患への応用を論じる。

森 洋一朗 (Yoichiro Mori) 氏

◆ ペンシルベニア大学教授 Penn CMB 共同所長

日本で医学を学んだ後、渡米し、ニューヨーク大学で数学の博士号 (PhD)を取得。40代以下の世代では、米国における数理生理学の第一人者として知られる。ペンシルベニア大学大学院の応用数学プログラムの総責任者を務める。  
Calabi-Simons Professor in Mathematics and Biology



16:30~17:20

Measuring evolutionary forces of cultural change

人間文化における進化の駆動力 (英語講演、lecture in English)

過去数百年に及ぶ膨大な英文の時系列データから、何が言語の進化を促す力であるかを探る。また、人名やペットの犬に関する嗜好の多様な分布を進化論的観点から説明する。

Joshua B. Plotkin  
(ジョシュア B. プロトキン) 氏

◆ ペンシルベニア大学教授 Penn CMB 共同所長

進化生物学および進化生態学の分野における世界的権威。数理的手法を用いて生態系や生物の多様性に関するさまざまな問題を研究している。2015年に大久保賞を授賞。  
Walter H. and Leonore C. Annenberg Professor of the Natural Sciences



日 時：2023年3月14日 (火) 15:30~17:30  
開催形態：対面とZoomウェビナーによるハイブリッド形式

特別講演会の情報掲載Webページはこちら →  
<http://www.mims.meiji.ac.jp/seminars/another/2022/20230314.html>



※ 本講演会は明治大学中野キャンパスで開催されますが、新型コロナウイルス感染症対策に関わる本学の活動制限指針により、会場で対面参加できるのは一部の関係者のみとなります。一般の方はオンラインで視聴が可能です。

※ オンライン視聴申し込みはこちら →  
視聴無料。事前申込制。



主催  
明治大学先端数理科学インスティテュート (MIMS)  
明治大学大学院先端数理科学研究科 (AMS)  
問い合わせ先  
明治大学先端数理科学インスティテュート (MIMS)  
E-mail: [mims@mics.meiji.ac.jp](mailto:mims@mics.meiji.ac.jp)

